#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

63224422 A

(43) Date of publication of application: 19.09.88

(51) Int. CI

H04B 7/26 H04B 7/26

(21) Application number: 62056520

(22) Date of filing: 13.03.87

(71) Applicant:

HITACHI LTD

(72) Inventor:

YAMAUCHI YUKIJI TSUKAMOTO NOBUO

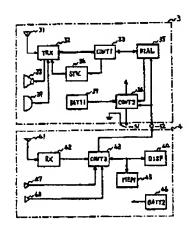
#### (54) COMPOSITE TERMINAL FOR MOBILE COMMUNICATION

#### (57) Abstract:

PURPOSE: To save a battery by changing only a mobile terminal side, by constituting a device in such a way that a paging receiver is incorporated or installed loadably/unloadably freely on a conventional portable radio telephone system, and expect reception for an incoming call is performed by the paging receiver.

CONSTITUTION: A radio telephone set 3 is constituted in such a way that the paging receiver 4 can be loaded/unloaded freely on the set, and when they are used separately, they are operated as an independent radio telephone set 3, and paging receiver 4. On the other hand, when they are used after being connected, a switch 51 which tenses the loading/unloading state of the paging receiver is closed when loading the paging receiver, and based on the above state, the power source control part 36 of the telephone system stops power supplying to a transmission/reception part 32, a control part 33, and a frequency synthesizer 34 in the radio telephone set 3, and stop the operation of the expect reception of the radio telephone set 3. Also, the power to every part in the paging receiver is always supplied, and the paging receiver always performs the expect reception. Since the paging receiver is a receiver of pocket bell system, it is possible to realize the expect reception with remarkably low power consumption by using an intermittent reception system.

COPYRIGHT: (C)1988, JPO& Japio



⑩日本国特許庁(JP)

30 特許出願公開

### ⑩公開特許公報(A)

昭63~224422

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内鹽理番号

**63公開** 昭和63年(1988)9月19日

7/26 H 04 2

109

6651 **–** 5K 6651-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

移動通信用複合關末 ⇔発明の名称

> 超62-56520 創特

躓 昭62(1987) 3月13日 ②出

⑫発 50 內 <u>ill</u>

雪 路 東京都國分寺市東恋ケミ1 了 目 280番地 株式会社日立製

作所中央研究所内

鲷 多発 本 信

東京都國分寺市東恋ケ窪1丁目280番地 株式会社日立製

作所中央研究所内

株式会社日立製作所 他出 踝

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

弁理士 小川 勝男 郊代 選

外1名

- 1、発明の名称 移動通信用拟合辩法
- 2. 特許請求の範囲
  - 1. 通信地域を複数のセルに分割し、それぞれの セルに無線構地用を配置したセルラ形移動通信 方式に用いる拇指用無線電話酸型において、こ れとは独立に動作するページング受信機を上記 無線電話鼓機に内蔵、もしくは希説自在に装着 して緯成されたことを特徴とする移動通信指摘 会纵来,
  - 2. 第1 承記収において上記ページング受債機と 上記無線電話機を接続した快機にあつては上記 諸瑞用無綿電話袋配の符ち受け受債を停止させ、 分離した状態であつては符ち受け受信の停止を 解腹させるべきスイツチ飛段を設けたことを殺 勝とする特許研求の範囲第1項記載の移動過借

たは全部を上記漢帯用無線電航機器額へ伝漢す る手段を設けたことを特徴とする特許説求の戦 開第1項記載の移動過貨用複合館末。

3、発明の辞細な誤明

( 溶製上の利用分野 )

本発明は移動通信複合端末に係り、特に電池に より週別される携帯吊無線電器装置に好遊な複合 環次に関する.

[従来の技術]

従来のセルラ形移動通信方式では、通常増減を 複数の小ゾーンに分割し、各ゾーン母に具なった 因故数の遊話チャネル群と、呼出し刺御チャネル が設けられ、各移動船米においては着周呼に対応 するため、呼出し初郷チャネルをな時期ち受け受 借する必要があった。このため各種動館来の消費 唯力を低波することが難しく、排帯形の無線電話 技器においては電池の小形化が困難であつた。

#### 特問昭63-224422(2)

るセービング密用の制御チャネルを破け、このチャネルを確久交信することでパンテリーセービングを図る方式が示されている。

#### (発明が解決しようとする問題点)

上記徒来技術によればパッテリーセービングの目的は一応達成されるものの、セービング用の特殊な無為チャネルを各々(小ゾーン)内に設ける必要性を育し、周波数要減の哲要がひつ進している昨今においては周波数要減の育功利用という戦点からは関係があつた。また、概存のセルラ形移動通信方式に変更を加える必要を有していた。

本発明の目的は底谷の移動通信方式に初別な姿 更を加えることなく、移動端末側のみの変更によ つて上述のバッテリーセービングを図ることにあ る。

#### (問題点を解決するための手段)

上記目的のため、本意明においては従来の旅存 用無熱電話製匠にページング受信機を内蔵、もし くは者説自在に装着させ、着信呼に対する持ち受 は受信はページング受信機に行わせるよう移動道 使用複合解求を構成した。すなわち、独称思想線 世間製製は通常符ち受け受信を行わず、ページン グ受信機により着呼を知る方式とした。

なお本発明に用いるページング受信機としては、 早出先の電話希号等を要示できる機デ付ページャ が効果的である。

#### 【作用】

以上説明した移動通信前級合格米を用いれば、 健果の無熱通信システムやページング通信システムを変更することなくページング受信機を内隔も しくは搭載した状態においては、誤習用無線電話 装罐に持ち受け受信をさせる必要がなく、 版電話 装置のパンテリーセービングに効果がある。

#### (探放深)

以下、本意明の実施制について健康を参照しながら終朝に説明する。

第1回は本発明による移動通信用複合約束の一 海筋網の外観を示すものであり、銀帯用無線電話 観視(以下無線電話機と増す)とページング受信 機とを登脱自在に熔成した例である。1は無線電

路機の外間、2はページング受信機の外収を示す。 第2回は本発明による移動通信用複合端末の一

類2 医は本発明による移動通信用額合品。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののでなるないのである。 ののでなるないのである。 ののでなるないのである。 ののでなるないのである。 ののでなるないのである。 ののでないのである。 ののでないのである。 ののでは、 ののである。 ののである。

第3回は本発明による模様用複合熵未提置を用

2個に示したものに等しい。また、7は移動通信 刺弾局、71は公務間語回線、72~74は無線 配語店路局、8はページング情号送信局、81は ページング信号、82は無線電話信号である。

次に、本典時間の動作を詳細に説明する。

第2個において、機線電話機3はページング受信機4と兼配自在の構造を持ち、分離して使用中は失々、強立した無線電話機3,ページング受信機4として動作する。逆に接続して使用する際は、ページング受信機の難認せ感知するスインテラング受信機の難認を感知するのとき関しられた。これを受けて戦歴顕短の機関御部33。対しと対するのができない。無線を動いたページング受信機4内の各部は背時給を見け受信を行っている。

#### 特開船63-224422(3)

**得我散力で待ち受け受信が可能である。** 

第3国において公衆回線71から上記復合解末6に対する呼が生誕すると、移物通信制命局7はまず無級難請為地局72~74に対し、一斉呼出しを指示する。各無線が増局72~74粒にれを受けて、各々が管轄するセル内に上記複合約束3に対する呼出し信号82を送出する。

上記ページング信号81を受信したページング 受信機4は着信呼が多つた事を音、光等の手段に より加入者に報知すると共に、受信したページン グ閉線を一見、ページング情報メモリ45にスト アする。なお本発明にかかるページング情号とし では、難呼者の电器指号率がページング情報とし て迷信されることを想定している。

ページング受信性4により お信呼を知つたが おは、 洗糸圏44に最示される信手方の電話符号 に対し逆に発呼を行うわけであるが、この目的の ため、加入者はページング受信機4に設けられた ダイヤル情報の影子47を御がからない、 これによりページング情報45をはメンを これによりページング情報45をはメンクをは、 とは、メモリムしたページング情報45を では、メモリムしたページング情報45を をはまりまする。 上記程数のがよりまするのがよりますが に伝送はこれに対するの に伝送はこれに対するの に伝送はこれに対するの に伝送はこれに対するの に伝送はこれに対する。 にがいて発呼を に対する。 に対する。 に対する。 にはがいる。 に伝送はこれに対する。 に対する。 にが、 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。 に対しる。

ところが、本発明による複合箱末においては無

線磁話機会が背時待ち受けを行っていないため、 例呼に先立ちまず自身が第3回の無線接換局72 ~74のいずれのサービスゾーンに位置するかを 切る必要がある場合も考えられる。このような時 は次に述べる手期で自身の所蔵ソーンを判断する。

 次に上記無線電話機のは改めて発呼要求信号を 、環境が地局に送出する。以後の発導接続手順は使 来の自動器電話方式と問等であるから貨幣する。

なお、以上の手順は相手からの着倍呼に対し応答する場合であるが、応答する必要のない呼であると利間した場合は、ページング信号受信時点で、ページング情報の転送相示スインチ47を押下する代わりに、ページング情報の破楽指示スインチ48を押下し、ページング情報メモリ45をクリフすれば良い。

第4回は上述の複合端末において、無線性誘機 内の電池収納部を工夫し、大彩の電路37cか、 もしくは小形の電池37bをベージング受信機2 の組み合わせのいずれか片方を電池収納部に設力 できるよう構成した一実路例の外観を示すもので ある。銅圏に示す網成を用いれば、ページング受 信機による長時間の特を受け受信を可能にするか、

#### 特開昭63-224422(4)

以上脱明したもの以外にも、特許解求の紹明 1 に記載した通り、ページング受債機を無線電腦機 に内蔽し、一体構造にすることも可能である。こ の場合の動作も向別者提択の故合案末と阿様に行 うことができる。

#### (発明の効果)

以上、説明の選り本発明によれば、携帯用無線 電話の符ち受けに関して無線電話機自身が待ち受 け受信を行う必要がなく、バンデリーセービング に著しい効果を養する。またおち受け受信そのも のはポケツトベル等のページング受信機が行うた め、若平の時間超延はともなうものの、着情呼は 確実に別人者に保護される。

次に本項合格求を接脱式に構成すれば、通常の 無線電器機としても、パンテリーセービングを行う複合端次としても利用でき、使用者の必要に応 じ自由な組み合わせが可能である。

また本複合端末内にベージング情報の気達手数を設けた事により、ベージング呼出しを受けた際呼出したへ一参数で発呼が可能であり、その対象

性に関しては健康の無線電話機を単独で使用する い合に比べ過色がない。

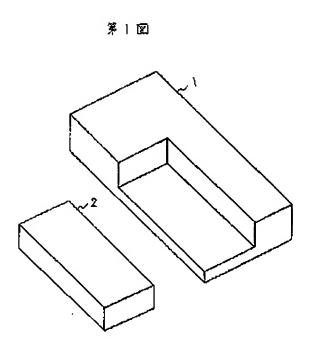
さらに本複合額末に係る無線通信方式は表々、 従来のセルラ港移納通信方式、ボケットベル呼出 し方式と何ら殺るところがなく、能収のみの歴更 であるから傾めて容易に導入可能である。

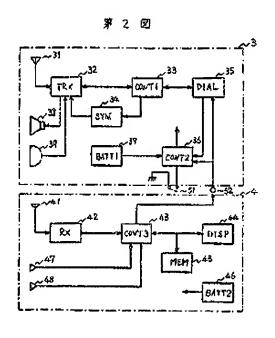
#### 4. 関節の簡単な説明

第1回は本発明の一次説例の外数、第2回はそのプロンク編図、第3回は本複合処次を用いたシステムのプロンク線図、第4回は可能収納部を示 決した本数金線水の一変競響の外側を示したものである。

3 … 無線電話機、 4 … ページング受信機、 35 … 電源制御部、 45 … ページング倍級メモリ、 51 … 看脱決線機視スイツチ、 52 … 情報 公達コネクタ、 6 … 複合箱末数盤、 7 … 刻御局、 72 ~ 74 … 無線基準局、 8 … ページング借号送信局。

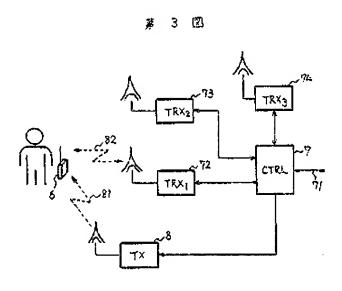
代理人 弗理士 小川勝男



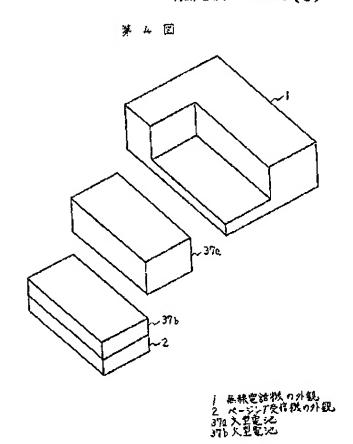


3 無線電話機 ...

## 特開昭63-224422(5)



6 模合端米装置 7 制御局 8 ページンプ付号送标局 7! 公果電話回報 72-14条線表記記号 81 ページンプ店号 82 条線電前信号



特開昭63-224422

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第7部門第3区分 【発行日】平成6年(1994)8月19日

【公開香号】特開昭63-224422 【公開日】昭和63年(1988)9月19日 【年通号数】公開特許公報63-2245 【出願睿号】特願昭62-56520 【国際特許分類第5版】 H048 7/26 109 7304-5K 103 7304-5K

手 嬔 뇀 正 雷

平成 等 3月2日

特牌厅最容 殿 事件必获示

超和 6 2 章 梅 春 原 5 5 5 2 0 号

発 到 の 名 為 移動速度用機合物末

横正をする器

条件との関係 英 路 总 類 人 (510) 聚式会社 日 立 夏 許 所 名 雅

代 理 人

〒100 東京都干代田区丸の内一丁目3巻)号

**黎斌会社 B 立 製 作 所 内** 

60 名

被正の対象 明総選の「特許路界の前面」及び 「希明の許相な説明」の包。

部内の玉筋

1、本額特許強求の範囲を別級のとおり補正する。

2、本観矩般機の後3頁後30行じの象別に「は」を「け」と記げてる。

DAL

上、無条電流技術局との間の交替機能を構えた機能理無線電話範囲と、ページン グ受信機とからなり、上記ページング発信機が上記無夢電話装置に内蔵もしくは 常則自在に装着され、就ページング受得機によって上記誌解電話製造に対する特 も受け党付を行うようにしたことを特徴とする移動処理用数合物水。

2、前距ページング医性機械対ち受け受性期間中は抑郁無線構成表徴における能 無株心を哲主しておき、ユーザ操作に必答して上記数常機能を透択的に関切させ お格式制和予技を引えたことを労働とする第1項に記載の経験通信用収合的本。 3. 前型ページング英領職で交信しミベージング斡旋の少なくとも1百を前記用 裁総括装罐に転送し、鉄松道信報を利用して発好助作を行うようにしたことも称 数とする第1項に記載の珍典通常周復合端末。

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Остиго

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.